

2017年度 秋季中部学生ヨット選手権大会

開催地：愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー沖

大会期間：平成29年9月23日（土）～平成28年9月24日（日）

共同主催：中部学生ヨット連盟、愛知県ヨット連盟

協力：豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

レース公示

1. 規 則

- (1) 本大会には「セーリング競技規則 2017-2020」（以下規則という）に定義された規則が適用される。ただしこれらの規則等のうち、本レース公示、帆走指示書により追加または変更されたものを除く。
- (2) 最新の「470クラス学連申し合わせ事項」、「スナイプクラス学連申し合わせ事項」、「全日本学生ヨット連盟規約」が適用される。これら規則は、愛知県ヨット連盟ホームページから入手することができる。
- (3) 付則Pを適用する。
- (4) SCARA 規則の「国内及び国際選手権大会の運営規定」は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 競技種目

470クラス、スナイプクラス

3. 資格及び申し込み

- (1) 全日本学生ヨット連盟規約第6条を満たしていること。
- (2) 本大会エントリー表に登録済みであること。
- (3) 選手及び監督・コーチは2017年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
- (4) 470クラスの選手は、日本470協会の2017年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- (5) スナイプクラスの選手は2017年度 SCIRA 登録済みであること。
- (6) 本大会に参加するチームは、参加申込書を締め切りまでに提出していること。
- (7) 各クラスとも選手1チーム9名までとする。
- (8) 艇は1チーム3艇とし、セールは各クラスとも1チーム3セットとする。

4. 参加料

| | | |
|---------|------|----------|
| 470クラス | 1チーム | ¥30,000- |
| スナイプクラス | 1チーム | ¥30,000- |

5. 日 程

9月23日(土)

開会式 8:40

主将会議 8:50

1日目の最初のレース 予告信号予定時刻

470クラス 10:00

スナイプクラス 10:07

*1日目の最初のレース終了後、以降のレースを順次行う

9月24日(日)

2日目の最初のレース 予告信号予定時刻

470クラス 9:30

スナイプクラス 9:37

*2日目の最初のレース終了後、以降のレースを順次行う

レース終了後に表彰式及び閉会式を実施する

- ・本大会のレース回数は最大6レースとし、各クラス1レースを持って成立とする。
- ・1日に実施するレース数は、レース委員会の裁量によるものとする。
- ・各日程における各クラスの次のレースはそれぞれ可能となれば、引き続き実施する。
- ・1日目は15:31以降、2日目は13:01より後に予告信号を発しない。

6. 艇

- (1) 原則として自己所有艇とする。またチャーター艇も可とする。
- (2) 470クラスは、2017年度団体登録を済ませた艇であること。
- (3) スナイプクラスは2017年度SCIRA登録を済ませた艇であること。

7. セール

- (1) 各チームが持参したセールを使用すること。
- (2) チャーター艇についても各チームが持参したセールを使用すること。
- (3) JSAFが認めた公式計測員が平成29年に計測をしたことを証明することができるセールを使用すること。
- (4) 同一のセールナンバー(ダッシュが付いているナンバーも)を同時に使用してはならない。
- (5) 470クラスのメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。

8. 帆走指示書

平成29年9月17日(日)までに愛知県ヨット連盟ホームページに掲載する。

コース

コースは添付 A のとおりとする。見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

9. 安全規定

各クラスは下記安全装備を搭載し、何時でも使用できるようにしておかなければならない。
スナイプクラス：パウライン（直径 8mm 以上、長さ 15m 以上）

10. 得点

- (1) クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースについて、チームごとに全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。これは付則 A2 を変更している。
- (2) 総合のチーム順位は、両クラスとも本大会に出場したチームのうち、両クラスの本大会の全ての得点を加算し、総得点の少ないチームを上位とする。
- (3) タイについては、付則 A8 を適用する。但し、付則 A8 記載の「艇」を「チーム」と読み替えた上で適用する。

11. [DP]支援者

- (1) 支援艇・応援艇を持ち込む場合は、受付時に、「支援艇・応援艇許可申請書」を提出してレース委員会に登録しなければいけない。
- (2) 豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇・応援艇は、西側棧橋以外に係留してはならない。
- (3) 豊田自動織機海陽ヨットハーバーに一時的でも入港する支援艇・応援艇は、海陽ヨットハーバーの所定の手続きを行い使用料の支払いをすること。
- (4) 支援者の乗る船は、水上にいる間、大会本部で貸与する識別用リボンを目立つように掲揚しなければならない。
- (5) 支援者は、レース委員会及びプロテスト委員会の無線を傍受してはならない。

12. 参加申し込み

- (1) 参加資格のあるチームは、申し込み書類を電子メールで申込するとともに全ての申込書類を郵送すること。申込書類は、以下のものとする。
 - ① 参加申込書-1、参加申込書-2（競技者名簿）（**EXCEL 形式のまま提出すること**）
 - ② エントリー料の振込み領収書の写し
 - ③ 参加申込書に記載した競技者全員および監督、コーチの『2017 年度（公財）日本セーリング連盟メンバーカード』※の写しもしくは『JSAF 会員 web 画面』の写し（日本セーリング連盟メンバーカードは、JSAF ホームページよりダウンロード可能）。
 - ④ スナイプクラスの競技者は、SCIRA へのメンバー登録番号を参加申込書-2 に記載のこと
 - ⑤ 470 クラスは計測登録証明書及び INTERNATIONAL 470CLASS MEASUREMENTFORM、（2011 年 7 月以降登録艇は、計測登録証明書は不要）
 - ⑥ スナイプクラスは計測証明書。

(2) 送付および参加費の振り込みを9月16日(土)までに行う事により申し込みとする。以降は、レイトエントリーとしてエントリー料金を50%加算することでエントリーを認める。申込とは、指定した全ての書類の郵送をもって完了とする。

(3) 送付先

郵便番号 509-2201

住 所 岐阜県下呂市東上田 161-3

氏 名 石倉 俊宏

E-mail: i-toshi@mui.biglobe.ne.jp

(4) 振込先

三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番532 普通0090156

中部学生ヨット連盟 会長 石倉 俊宏

13. 受 付

参加大学は、参加申し込み時に求められた場合、以下の書類の写しを提出することにより受付を完了させなければならない。

- (1) (公財)日本セーリング連盟会員証。
- (2) 「(13) 参加申し込み」で指定した申込書類
- (3) JSAF が認めた公式計測員が平成29年に計測し承認した証左。
- (4) 学連申し合わせ事項に基づいたチェックリスト。

14. 賞

賞を次のように与える。

各クラス・総合 賞状1位~3位

総合優勝 優勝旗

15. 責任の否認

競技者は自分自身の責任で大会に参加する。規則4「レースすることの決定」参照。

主催団体は大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 備 考

本大会は第82回全日本学生ヨット選手権大会の予選を兼ねており、本大会の成績は中部水域推薦校を検討する際の参考となる。

但し推薦校検討にあたっては、本大会の成績だけではなく、日頃の学連行事への参加状況対応状況等を含め、総合的に判断する為、必ずしも上位チームからの推薦とはならない。

第82回全日本学生ヨット選手権大会に出場する艇は、別途指定した日程、場所で計測を受けなければならない。また計測料金として1艇3,000円負担すること。

18. 連絡先

参加申し込み先と同様

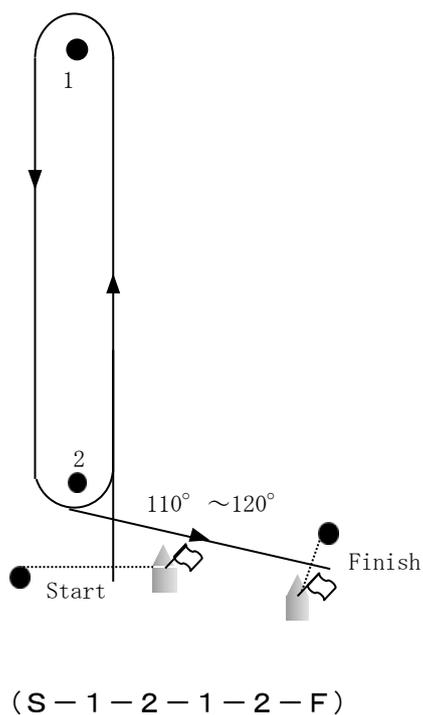
19. 責任の否認

- (1) 競技者は、自分自身の責任において本大会参加している。
(規則4「レースをすることの決定」を参照)
- (2) 主催団体は、本大会前、本大会中、本大会後に関連して受けた物的損傷または個人の負傷、もしくは死亡に対するいかなる責任を否認する。

20. その他

- (1) 本大会期間中の、艇、選手に関連する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は主催団体に帰属する。また、これら写真は、ホームページ等へ掲載されることがある。
- (2) 大会周知事項は、中部学生ヨット連盟 facebook ページで周知される。

添付A：コース見取り図



以上

2017年8月30日作成